

記載要領（廃車）

- 1 この申告書は、原動機付自転車又は小型特殊自動車1台ごとに作成すること。
- 2 「申告の理由」及び「種別」の各欄には、該当箇所の□（チェック欄）にレを記入すること。
- 3 「廃車年月日」の欄には、納税義務が消滅した年月日を記入すること。
- 4 「納税義務者」の欄には、所有者と使用者が同じである場合は、所有者欄のみを記入すること。
- 5 「届出者」の欄には、申告に来た者が納税義務者以外の者である場合に記入すること。
- 6 「主たる定置場」の欄には、申告の際の主たる定置場が所有者の住所又は所在地と同じである場合については1を○で囲み、それ以外の場合については2の欄にその住所又は所在地を具体的に記入すること。
- 7 「標識返納の有無」の欄には、標識の返納が有る場合には1を、また、標識の返納のない場合には2を○で囲むこと。なお、標識の返納のない場合については、その理由に該当する項目を○で囲み、具体的な理由を〔 〕内に記入すること。
- 8 「盗難届出」の欄には、「申告の理由」又は「標識返納がない場合、その理由」欄において「盗難」に該当する場合に、その盗難を届出た年月日、被害年月日、届出警察署及び受理番号を記入すること。

本人確認書類となるもの ※いずれも有効期限内のものに限る

【1点提示でよいもの】

運転免許証、パスポート、個人番号カード、住民基本台帳（顔写真付き）、在留カード、特別永住者証など
国又は地方公共団体の機関が発行した資格証及び証明書（顔写真付きのもの）

【2点以上必要となるもの】

- A 健康保険証、年金手帳、高齢受給者証、介護保険被保険者証など法律の規定により国または地方公共団体の機関が発行したもの
 - B 社員証・学生証（顔写真付き）など国または地方公共団体の機関以外が発行したもの
- 本人名義の預金通帳、キャッシュカード、クレジットカードなど取得時に本人確認を行い、かつ改ざん防止の措置を施したものの
(注) Aのみ2点 または AとBの2点による組み合わせとなります。

相続人記載欄は必ず相続人本人がすべてお書きください。

相続人記載欄	令和_____年_____月_____日に	相続人住所: _____
	(納税義務者) _____が死亡したため、	相続人氏名: _____
	(死亡した方からみた続柄) _____である私が	※届出者が相続人でない場合はご記入ください。 私は、この申告および関係書類の受領に関する行為を(届出者) _____に
	1 廃車手続を代行します 2 車両を譲り受けます 3 譲渡する手続きを代行します (いずれかに○)	委任します。 令和_____年_____月_____日 (私と届出者の関係: _____)